

了翁禅師

了翁は、江戸時代（1630年）に湯沢市八幡の貧しい農家に生まれました。幼いときに母をなくし、苦勞して育ちました。

東成瀬村の龍泉寺にあずけられ、お坊さんになるための勉強をしました。14歳になったとき、岩手の中尊寺に修行に出かけ、大事なお経がちりぢりになっているのを見て、中国から伝わった大蔵経というお経や仏教の本を集めようと決心しました。

それからというもの、つらく厳しい修行を続けました。さらに「錦袋円（きんたいえん）」という薬を発明し、たくさんのお金をもうけ、そのお金で子ども時代に決めた大蔵経を買うことができました。

了翁は、江戸（東京）の上野に経堂という建物を立てて、たくさんのお経やそのほかの本を勉強したい人たちがだれでも自由に読めるようにしました。それまでは、本を宝物のようにしまっておくばかりでしたから、了翁が考えた図書館は、今の図書館のもとになる公開図書館の始まりだといわれています。